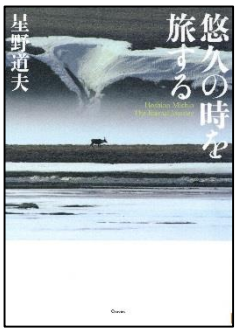
図書館の窓から

長岡市立中央図書館報　No.163
2019★冬号

～「読みたい・識(し)りたい」
そういう図書館がある～

長岡の冬に欠かせない雪。身近な「雪」をテーマに、雪国のくらしや厳しい自然に立ち向かう生きものの姿を追った本など、この季節におすすめしたい本を紹介します。暖かい部屋の中でじっくり読んでください。

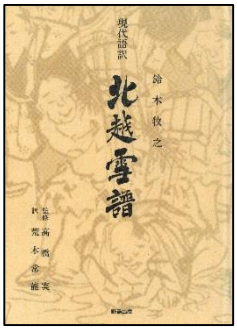
『悠久の時を旅する』



星野 道夫／著
クレヴィス

生涯アラスカの大地を愛し、写真とエッセイでその魅力を伝え続けた星野道夫氏。
著者は「きびしい季節の中で、ひたむきに生きているこの土地の生き物たちの姿が僕は好きだ」と言います。その言葉の通り、厳しい雪の世界に生きる動物たちの姿に目を奪われる一冊です。

『現代語訳　北越雪譜』

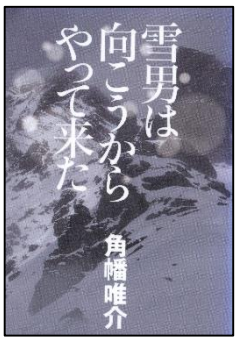


高橋 実／監修
荒木 常能(つねただ)／訳
野島出版

塩沢出身の鈴木牧之によって書かれた「北越雪譜」は、雪国越後の民俗や習慣などを綴った随筆集として広く知られています。雪のために苦労を強いられる人々の姿は現代にも重なるところがあり、雪国の我慢強い気質が生まれた所以を感じ取ることができます。

雪

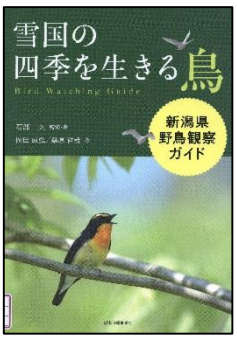
『雪男は向こうからやって来た』



角幡 唯介／著
集英社

突然の誘いをうけ、著者は2008年、イエティ・プロジェクト・ジャパンのメンバーとして、ヒマラヤへ雪男捜索に向かうことに。チームを率いるのは小国地域出身の高橋隊長。未確認生物など興味がなかったという著者の冷静な目が、雪男に魅入られた人たちを見つめます。

『雪国の四季を生きる鳥』



石部 久／監修・著
岡田 成弘／著
桑原 哲哉／著
新潟日報事業社

寒さが厳しく大地が雪で覆われる新潟県の冬、鳥たちはどのように過ごしているのでしょうか。瓢湖のハクチョウ、飯豊連峰山麓のクマタカなど、本書は季節毎に鳥と出会える場所を紹介しています。時には雪が有利に働くことも。この冬はバードウォッチングに出かけてみませんか？

＊このページで紹介した本は、中央図書館一般コーナー入口付近に展示しています。ぜひご利用ください！

長岡市立図書館開館１００周年記念・長岡開府４００年記念

林真理子講演会を開催しました

長岡市立図書館開館１００周年を記念して、昨年 10 月 15 日（月）長岡市立劇場・大ホールにおいて、作家・林真理子さんの講演会を開催しました。ＮＨＫ大河ドラマ「西郷どん」の原作者である林真理子さん。講演会の参加者募集には、1,500 人の定員を大幅に上回るご応募をいただきました。

講演は、長岡市についての印象、お母さまのお話、「西郷どん」に関するお話など、盛りだくさんの内容で、参加した人からは「歴史小説を書き上げるために、血のにじむような努力を長い期間続ける姿に感銘」「とても楽しく時間を忘れて聞いていました」などの感想が寄せられました。

また講演に先立ち、長岡市立図書館の歴史と、未来へつないでいく図書館の現在の活動を紹介する映像を上映。会場のロビーでは、「長岡市立図書館１００年のあゆみ」と題した展示を行い、訪れた大勢のみなさんに、市民の力によって生まれ市民の力に支えられてきた長岡市立図書館を知っていただく機会となりました。

▲平成 23 年の「エンジン 01 文化戦略会議」の幹事長として長岡を訪れ、長岡の花火をたびたび見に来ているという林さん。「なんともいえないおだやかな知的な空気がある」と長岡についての印象を話されました。

▲野本恭八郎（互尊翁）が長岡市に図書館を寄付したことから始まった市立図書館の歴史と現在から未来への活動を映像で上映しました。

▲和やかな雰囲気の中、林さんのお話に聞き入る参加者のみなさん

▲会場のロビーで長岡市立図書館の開館から現在までのあゆみを展示で紹介

米百俵の精神　　館長通信

昨年は長岡開府４００年、戊辰１５０年、図書館１００周年など、歴史にふれる多くの機会がありました。今も長岡のひとづくりの根幹をなす米百俵の精神について興味深いエピソードを知る機会がありましたのでご紹介したいと思います。

戊辰戦争後の荒廃から復興を目指す長岡で、食えないからこそ学校をつくるという小林虎三郎の米百俵の精神は、昭和 18 年に新潮社より出版された文豪山本有三の戯曲「米・百俵」により広く知られるところとなりました。昭和 50 年に当時の小林孝平市長が、脈々と生き続けてきた小林虎三郎の精神を想起し、教育尊重の市民性をさらに高めて文化の薫り高い都市にしたいとして長岡市役所より『米百俵　小林虎三郎の思想』を刊行し、その後、映画や歌舞伎に取り上げられ、千秋が原には米百俵の群像ができるなど、米百俵の精神は市民の心の拠り所となりました。

山本有三氏がこの作品を著すきっかけとなったのは、長岡市出身のドイツ文学者星野慎一氏との会話でした。昭和 14 年、星野氏は『真実一路』の独訳のため山本氏を訪問していたところ、山本五十六海軍次官の話題となり、「山本次官も長岡か。長岡は官軍に反抗した小藩だったが、なかなか人物が出ているね。」との有三氏の弁に、星野氏は山本次官のような人物が長岡から出ているのは河井継之助や小林虎三郎と無関係ではないと維新当時の長岡藩の情勢を熱く語り、悲運の英雄河井継之助を小説にしてもらえないかと話されたそうです。その後、山本氏は虎三郎に興味を持たれ米百俵の執筆に至ったのです。

当時の長岡で米百俵の逸話を知る人はいなかったようですが、星野氏は旧制長岡中学時代に平松周治という物理の先生が授業で脱線し語ってくれたと言います。星野氏は長岡市史編集委員長を務められ、偉大な功績を残された文学者で、当館では氏の蔵書約 7,000 冊を星野慎一文庫として所蔵しています。

（参考資料　『長岡市史研究』第４号、第５号）

（山田あゆみ）

中央図書館所蔵資料紹介　No.159　長岡城攻防絵図

これは慶応４年（1868）の北越戊辰戦争の状況を表した絵図で、北は村松城、南は小千谷、東は栃尾と守門岳、西は日本海と佐渡までを描いています。

「慶応四年辰五月十日榎峠合戦始リ、昼夜ノ戦争、（略）」、「五月十九日長岡落城、官軍追々此地江出張有ル（略）」「同（七月）二十九日又官軍が（が）押よせ、長岡乗取ル」など、図を囲むように戦況を記述。

その書き出しには「秋雨（しゅうう）」の印、末尾には「秋雨文庫」の蔵書印があります。秋雨とは中頸城郡三郷村（上越市）出身の木村秋雨（名・淑澄（よしずみ）、僧名・孝禅（こうぜん））（1906～88）のことです。北越戊辰戦争の記録を手がかりに作成されたのではないかと考えられます。

秋雨は俳句や和歌をはじめ書画をよくし、会津八一や相馬御風、堀口大學(＊)らと親交がありました。長岡とのかかわりも深く、昭和初期、長岡警察署の巡査として宮内派出所に勤務しており、昭和６年の御風宛ての賀状は「長岡千手一」から出されたものです。さらに同年９月、互尊文庫で開催した「郷土人著作物展覧会」では、秋雨も出品者として名をつらねています。

この絵図は昭和 37 年、当時高田市文化財調査委員をつとめていた秋雨から寄贈を受けたものです。以来、長岡城攻防の様子が一覧できる絵図として重宝されてきました。図を見ていくと、町や村の地名を詳しく記しており、多くの場所で赤い炎があがっています。戦火は長岡だけでなく、広範囲に及んでいたことに改めて気づかされるのです。　　（小熊よしみ）

＊木村秋雨の著書『越後文芸史話』（昭和 50 年北越出版）の題字と序文は堀口大學による。

☆1 月 4 日（金）～1 月 20 日（日）中央図書館のエントランスギャラリーで展示。

1月～3月 イベント

平成 30 年は図書館開館 100 周年
あなたのそばにいつも図書館

◎参加無料・要申込

～読み聞かせボランティア養成講座～
「子どもと楽しむわらべ歌」

◆日時： 3/9（土）10:00～12:00
　　3/16（土）10:00～12:00
※2 回連続講座です。
◆対象：高校生以上
◆講師：伊藤 美智子さん(野いちご文庫スタッフ)
◆定員：50 人(先着)
◆会場：中央図書館 2 階　美術センター
◆申込：3/1（金）9:30 から
☆中央図書館窓口・電話で受付☆

長岡市子ども読書活動推進計画
～ずっとかたわらに本のある暮らしを～

****

早春コンサート 2019

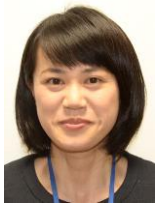
◆日時：3/21（木・祝）14:00～15:30（13:30 開場）
◆出演：演奏サークルぽんぽこ弦楽四重奏団
◆内容：弦楽四重奏の生演奏
◆対象：中学生以上
◆定員：180 人(先着)
◆会場：中央図書館 2 階　講堂
◆申込：3/12（火）9:30 から
☆中央図書館窓口・電話・ホームページで受付☆

****

文化講座
「村上春樹の世界へようこそ～人と作品～」

村上作品に初めて触れる方も大歓迎です。

◆日時：3/24（日）14:00～15:30（13:30 開場）
◆講師：堀口 真利子さん
(長岡工業高等専門学校 准教授)
◆対象：高校生以上
◆定員：180 人(先着)
◆会場：中央図書館 2 階　講堂
◆申込：3/10（日）9:30 から
☆中央図書館窓口・電話・ホームページで受付☆


【堀口先生】

＜映画会＞

◎入場無料・申込不要 2 階講堂
13:30 開場　14:00 上映

1/ 9(水)「**神様の思し召し**」
2015 年/イタリア（88 分）
1/26(土)「**俳優 亀岡拓次**」
2016 年/日本（123 分）
2/ 8(金)「**火の山のマリア**」
2015 年/グアテマラ・フランス (93 分)
3/ 3(日)「**レベッカ**」
1940 年/アメリカ（130 分）
3/19(火)「**宇宙戦争**」
1953 年/アメリカ（85 分）

＜図書館グッズ販売案内＞

クリアファイル

2019 カレンダー

コットンバッグ

一筆箋

◎ 中央図書館 2 階カウンターにて販売中

特別図書整理に伴う長期休館と貸出点数変更について

下記の長期休館に伴い、1/28(月)～2/19(火)の間、貸出し点数を 20 点まで（内、視聴覚資料は 6 点まで）とします。

館　名	休館する期間
中　央	2/20（水）～ 2/28（木）
互尊文庫 西・南・北	2/13（水）～ 2/18（月）
中之島・寺泊 大河津・栃尾	2/15（金）～ 2/19（火）

平成 31 年 1 月 1 日　長岡市立中央図書館　編集・発行
長岡市学校町 1-2-2　℡ 0258-32-0658
mail：lib@city.nagaoka.niigata.jp